

事業報告書

I 法人の概要

1 設置する法人・学校・学科等

法人名 学校法人 正眼短期大学（住所 岐阜県美濃加茂市伊深町872-2）
 学校・学科 正眼短期大学 禅・人間学科（住所 岐阜県美濃加茂市伊深町876-10）

2 当該学校等の入学定員、学生数の状況（平成27年5月1日現在）

	入学定員	収容定員	在籍者数
禅・人間学科	25人	50人	48人

	1回生	2回生	合計
禅・人間学科	23人	25人	48人

	人数	備考
卒業生	11人	H26秋卒3人、H27春卒8人
就職者数	8人	就職希望者8人
内 修行道場	5人	入学前の職業に戻った者も含む
医療技術者	1人	
事務従事者	1人	
法務関係	1人	
進学者数	1人	
その他	2人	主婦等

現学生の状況

	人数	備考
留年者	0人	
留学生	2人	中国1人、フランス1人
社会人学生	38人	21才以上、社会経験2年以上
長期履修学生	15人	1回生4人 2回生11人
休学者	10人	僧堂掛搭、体調不良等
退学・除籍者数	6人	12%(26年度在籍学生50人)

3 役員・教職員の概要（平成27年5月1日現在）

役員

	現員	定員
理事	16人	15~22人
監事	2人	2人
評議員	37人	31~45人

役職名	氏名	備考
理事長 兼 学長 兼 教授	山 川 宗 玄	常勤 評議員兼務
専務理事 兼 副学長 兼 教授	今 村 敬 子	常勤 評議員兼務 学識経験者
専務理事 兼 准教授(法人本部事務局長)	後 藤 安 弘	常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	柴 田 廉	非常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	千 坂 秀 学	非常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	谷 内 田 孝	非常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	渡 辺 俊 幸	非常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	遠 藤 宏 治	非常勤 評議員兼務
理 事	大 松 利 幸	非常勤 評議員兼務
理 事	坂 井 知 足	非常勤 評議員兼務
理 事	杉 山 幹 夫	非常勤 評議員兼務
理 事	高 木 一 夫	非常勤 評議員兼務
理 事	滝 多 賀 男	非常勤 評議員兼務
理 事	丹 羽 喜 人	非常勤 評議員兼務
理 事	長 谷 和 治	非常勤 評議員兼務
理 事	吉 田 豊	非常勤 評議員兼務
監 事	石 原 強 兵	非常勤

監 事	前 野 昭 道	非常勤
評議員 兼 職員(事務長)	包 子 万由美	常勤 本学教職員
評議員 兼 教授(学科長)	鈴 木 重 喜	常勤 本学教職員
評議員 兼 講師(学生部長)	村 瀬 正 光	常勤 本学教職員
評議員 兼 職員	村 山 順 子	常勤 本学教職員
評 議 員	青 井 有 信	非常勤 卒業生
評 議 員	安 部 慈 光	非常勤 卒業生
評 議 員	河 口 泰 義	非常勤 卒業生
評 議 員	高 林 康 秀	非常勤 卒業生
評 議 員	武 山 廣 道	非常勤 卒業生
評 議 員	永 井 稜 洲	非常勤 卒業生
評 議 員	原 田 宣 昭	非常勤 卒業生
評 議 員	堀 部 佳 道	非常勤 卒業生
評 議 員	宇 佐 晋 一	非常勤 学識経験者
評議員 兼 講師(教務課長)	宇 佐 美 之 規	常勤 学識経験者
評議員 兼 非常勤講師	野 崎 康 弘	非常勤 学識経験者
評 議 員	松 岡 文 夫	非常勤 学識経験者
評議員 兼 非常勤講師	松 原 一 哲	非常勤 学識経験者
評 議 員	光 山 秀 雲	非常勤 学識経験者
評 議 員	山 本 正 憲	非常勤 学識経験者
評 議 員	鈴 木 ゆかり	非常勤 学生護持会選任
評 議 員	東 出 正	非常勤 学生護持会選任

教育職員	学長	教授	准教授	講師	助手	非常勤講師	計
	(教授)1	3	1	4	0	9(1)	17人

非常勤職員1人含む

事務職員	専任	非常勤	計
	3	3	6人

II 事業の概要

1 沿革と事業の概要・目的

本学の開学は、臨済宗妙心寺派正眼寺住職の梶浦逸外老師が、今より60年前、戦後の荒蕪した世相を観て、「開山大師、もし今日いましなば、報恩底に何を求められるか」と自問し、逸外老師は法田を耕すことであり、法田を耕すとは、行学兼備の真の禅僧、人材を打出することであると考へ、禅の専門道場と学校教育の一貫した教育機関の設立が必要であると、本学を開学したのである。

この法人の寄附行為には、「この法人は、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い、人間形成を根幹とする行学一体の教育を施し、社会に有意な人材を育成することを目的とし、この法人の教育は、永久に仏教の信仰、並びに正眼禅の精神に基づいて行う」と定められている。また学則では、「仏教に関する専門の学術を研究し、禅的精神によって人格を陶冶し、もって人類文化に貢献する有為の人材を育成すること」を目的としている。この目的を達成するため、禅・人間学科を設置している。

また平成24年度より、社会人僧侶育成プログラムを開始し、臨済宗妙心寺派宗務本所宗門活性局と連携して、「第二の人生は僧侶になって、世の為人の為に活躍しませんか」の標語とともに学生を募集している。

2 学校法人の管理・運営

理事制度・監事制度及び評議員制度の改善や財務情報等の公開義務を定めた私立学校法の一部改正に対応するため、寄附行為の大幅改正を行い、文部科学省に寄附行為の変更申請し平成17年8月に認可された。また就業規則等も大幅改正を行い、質の高い教育・研究を行うため、円滑な管理運営体制を整備し、現代社会の変化に対応した諸規程の整備を行っている最中である。教育・研究組織は、学長のもとに教授・准教授・講師・各部長を加えた教授会を置き、大学の重要な事項を諮っている。事務組織は、学長・学科長のもとに事務部・教務部・学生部・総務部・図書館を置き運営している。

また、平成26年6月27日に「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」(平成26年法律第88号)が公布され、これを受け、「学校教育法施行規則及び国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令」(平成26年文部科学省令第25号)が平成26年8月29日に公布され、平成27年4月1日から施行されることを受け、教授会や教職員会で協議して内部規則の見直し案を作成した。私学経営研究会の弁護士へ点検を依頼して、理事会に議案として提出し、学則を含めて内部規則を改正した。

3 当年度の主な事業の計画・主な事業の進捗状況

本学は平成27年度に創立60周年を迎える。そこで記念事業として平成26年度から、図書館の耐震改修工事、旧本館の改築工事(禅文化教室棟新築工事)を進めている。また「正眼短期大学ボランティアセンター」では、地域の人たちと学生、教職員が密接に結びつく活動(特養訪問・清掃活動・農園活動等)をしている。また地域に住む外国人に対し、本学において日本文化を紹介する国際交流活動や、ブラジル人の子供達を対象にした学童保育ボランティア活動も現在進行中である。

4 設備の状況

今期は、創立60周年記念事業のため、その準備工事や引越が行われたが、建物の改修工事や取り壊し工事を平成27年4月から行うため、重要な増減はない。

重要な設備計画は、平成27年度の創立60周年記念事業として図書館耐震改修工事と禅文化教室棟新築工事が終了する。

5 資金調達の状況

今期においては該当する事項はありません。

6 監査の状況

私立学校振興助成法の規定に基づき、公認会計士(西松達郎公認会計士事務所)の監査が実施された。また、学校法人正眼短期大学寄付行為の規定に基づき、監事の監査が実施された。監査報告書には本学監事、決算書(計算書類)に独立監査人の監査報告書が記載されている。

Ⅲ 財務の概要

1 経年比較

(単位:千円)

科目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
授業料	23,766	22,863	21,828	19,781	17,347
入学時納付金	4,375	3,125	3,500	3,375	1,500
その他の納付金	17,550	16,920	16,402	14,808	12,650
手数料	685	774	460	587	556
寄付金	38,750	20,383	19,231	21,482	16,562
補助金	42,578	40,051	45,799	41,355	26,049
資産運用収入	336	127	2,303	971	242
資産売却差額	0	0	0	0	902
事業収入	15,510	27,200	14,799	14,311	13,162
その他	3,363	4,133	4,511	6,977	7,048
基本金組入額	△ 18092	0	△ 20,292	△ 16,991	0
消費収入の部合計	128,821	135,578	120,556	106,658	96,021

科目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費	44,768	48,856	51,621	44,638	51,535
教育研究経費	47,257	47,782	46,251	47,320	50,835
管理経費	14,634	27,193	21,173	13,768	14,843
資産処分差額	146	0	1,679	177	108
徴収不能額	0	0	0	0	0
消費支出の部合計	106,805	123,831	120,726	105,905	117,322

○ 収入の部

学生数は48名と前年度より若干減少し、また休学者の増加、寄付金事業の翌年度繰延べ、特別補助金の終了により収入が減額した。消費収入合計は96,021千円となった。

○ 支出の部

収入が伸び悩むなか、経費全般の圧縮につとめたが、教育研究経費部門で教室棟や図書館の耐震診断料や管理経費部門で学生募集に関わる広告費が発生し、消費支出合計は117,322千円となった。

○ 収支差額の部

上記記載のとおり消費収入が96,021千円、消費支出が117,322千円となり、当年度消費収支差額は▲21,301千円となった。

2 資金調達の状況

今期においては該当する事項はありません。

3 寄付金の状況

平成26年度は前年度より約4,920千円減額し16,562千円となり、平成27年度には創立60周年記念事業である禅文化教室棟新築・図書館耐震改修事業寄付金の募集を行う。

4 主要な資産負債の内訳

資産の内訳 流動資産114,960千円(うち現金預金が114,584千円)
 固定資産530,656千円(うち土地建物等が419,867千円)
 負債の内訳 流動負債20,917千円(うち前受金が12,036千円)

Ⅳ 対処すべき課題

現在の少子化という状況において、学生数の減少が続けば経営状況の悪化は避けられないものとなる。このため大学の特色を明確に定め、これに基づいた事業を実施する事で他の学校との差別化をはかり、入学者を確保する必要がある。また創立60周年を迎え、記念事業として老朽化した校舎の改築及び耐震化に伴う工事を実施するにあたり、財政基盤をより一層安定化させる対策(寄付金収入や公開講座等の収入等)が必要である。さらに、文部科学省が推進している地域連携生涯学習教育の提供に努力し、これに対応した事業の実施を検討していく必要がある。